

7月12日(金) 特別フォーラムを開催します

ぎふの木ネット通信

2024.06

ぎふの木ネット特別フォーラムを7月12日(金)に行います。下の画像は昨年7月に行った特別フォーラムの写真になります。松尾設計室 松尾氏を講師に招き「省エネ住宅を経済的に実現する」をテーマに、今後のSDGsな住宅建築を考えるうえで大変参考になる講演をいただきました。

日にち: 7月12日(金)
受付開始: 13:00~
開 会: 13:30
閉 会: 17:00



会場: 岐阜グランドホテル
西館2F「雪の間」

県産材を使った地震に強い構造設計 を全体のテーマに、今回も講師の先生をお呼びして県産材を住宅に使用する良さを講演いただきます。

講師には 岐阜県立森林文化アカデミー 小原勝彦教授。テーマは『木造建築の構造性能設計のすすめ』について講演をいただきます。講演内容はいろいろな性能因子を考慮して開発した構造要素とその設計事例、振動解析による性能設計や、振動測定による性能検証などを通じて、安全・安心な住まいのヒント。



一般社団法人
日本BP材協会
Japan Binding Piling Timber Association



住まいの品質を考える
日本住環境株式会社



株式会社 コンピュータシステム研究所

岐阜県銘木協同組合連合会



ぎふの木ネット協議会



住友理工株式会社
SUMITOMO RIKO Company Limited



メーカー9社(6月19日時点)が専用ブースを設け、各担当者が商品説明をさせていただきます。

お申込みURL ⇒



第3回・第4回 グリーンリノバ部会開催予定です

第3回 8月6日(火) 予定

実務勉強開始。年4~5回カリキュラム発表(※有料)

岐阜県における住宅リフォーム&既存住宅流通の新しい「しくみ」づくり

第4回 10月2日(火)・3日(水) 予定

リノバ勉強会のイベントとして開催。

ビフォーアフター視察(※宿泊費・交通費別途)



ぎふの木ネット協議会会員へ 特別なご案内

ぎふの木ネット協議会会員さまへ、シーシーエヌ株式会社さまからお得な特別プランのご案内です。

一般には掲示のないプランで5年間最安値と伺っております。

価格情報

サービス	1年目	毎月 2,640円
	2~5年目	毎月 4,290円
	6年目以降	毎月 5,940円
※ 価格はすべて税込み		

その他、

レンタル機器 無料(2台)

キャッシュバック 1万円 などの**特典**がございます。

詳しくは協議会までお問い合わせください

TEL:058-271-3111

令和6年 ぎふの木ネット協議会 イベント予定

ぎふの木ネット協議会の令和6年度行事予定についてお知らせいたします。

11月29日(金) 午後

ぎふの木ネット協議会イベント

会場:岐阜グランドホテル

昨年度12月に行いました年末フォーラムでは、第一部ではサプライチェーンや協定、健康住宅について大変に参考になる内容でご好評をいただきました。

詳細につきましてはそれぞれ日付が近くなりましたらまたお伝えいたします。

ぜひとも予定を空けてくださいますようお願いいたします。



会員の方への情報を募集します

会員の皆様へのご報告として、ぎふの木ネット通信を発行し(年6回程度)、協議会の活動報告などをお伝えしていきます。

今後は会員の皆様同士の情報共有を図るために、皆様からの貴重な情報を頂き、その情報を会員の皆様へ周知したいと考えております。

展示会や近況など、お知らせしたい内容がありましたら、ぜひ事務局までご連絡ください。

(チラシなどの印刷物をご提供いただければ、ぎふの木ネット通信の中に同封して会員の皆様にお送りします。)



さらば花粉症・・・そして 杉、桧の需要開発を！

<花粉症の猛威>

先般、孫の友だちがゴーグルの様なめがねをしており、その話題の時にそれが花粉症用の眼鏡であることを知りました。最近私のまわりでも花粉症で悩んでおられる方が大変多く、症状が重い方にとって今が一番つらい季節のようです。花粉症とは“季節性アレルギー鼻炎”で体内に侵入した花粉に対して引き起こされるアレルギー反応です。

原因となる植物は杉や桧、イネ、ヨモギ、ブタクサ、シラカンバなどで杉は1月以降、桧は3月以降、イネの場合は5～6月にかけ流行が見られます。1年の半分ぐらい影響があり2人に1人が発症する花粉症その歴史は？

<かつてはなかった？花粉症>

実は1985年位を境に急に症状が出る方が増えています。昔から山に杉や桧はあったのに WHY？

その理由は花粉が汚れたしからだという説が多く言われています。

花粉は何らかの衝撃を受けると破裂しその時にアレルゲン物質を放出します。

このアレルゲン物質こそが花粉症の原因であり、特に空気中の大気汚染物質と花粉が結合する事で引き起こされると言われています。

大気汚染物質とは自動車の排気ガスやゴミ焼却炉からの炭素物質や金属の微粒子や黄砂、PM2.5などがあり、国の発展の副反応が花粉症とも言えます。また、食生活の違いも1つの原因とされており食生活の欧米化により肉食が増え免疫機能が低下し刺激要因に反応しやすくなっているとも言われています。

<花粉症が国家的問題に>

岸田首相もかなりの花粉症なのか？
昨年の4月に花粉症に取り組むと語り
いよいよ社会問題化しました。これには私たち、業界人もビックリいたしました。



さらに林野庁を通して具体的な杉の伐採計画が現在示されており、今後脱炭素化の動きと並行して進められていくと考えられます。

<花粉症対策初期集中対応パッケージとは>

最近花粉症で悩んでいる人が一時に比べ大きく減った。

平成5年ごろ、国レベルで大きく取り上げられて林野庁が中心となり対策を講じた。都市部近郊の杉材の集中伐採や**杉の需要拡大**が効果的であった。

また花粉の少ない苗木の生産拡大が行われたことと舌下免疫療法の進化や拡大が功を奏した。

杉需要開拓の一環としてぎふの木ネットでも構造材パッケージ(杉・桧)が50%を超えるようになった。また合わせ梁等の新商品の開発も進み、性能とコストの両立が実現した。



<需要の行く先は>

新設住宅着工予測

昨年度	2023年	約81万戸
	2025年	75万戸
	2030年	65万戸
	2035年	55万戸

反面、脱炭素化やSDGsの視点からも木材需要の増加が予測される分野があります。

- ① ・非住宅の木質化(鉄やコンクリートから木材への流れ)
・オフィスの木質化(快適で効率的なワークスペース)
- ② 空き家対策によるリモデル需要
現在850万戸ほどの空き家が2033年には2,000万戸に急増し社会問題化しつつあり、行政を中心に対策が講じられ始めた。(リモデルして店舗やワークスペース等へ・・・)
- ③ 耐震、省エネ、リフォーム
能登半島地震による耐震リフォームやエネルギー価格上昇による省エネリフォーム等

<結論>

全国的には 杉 桧 の人口林面積は

杉 447,500ha に対し 桧は 259,900ha で **杉が 65%、** に対し **桧が 35%** の感じですが、岐阜県では 杉 122,490ha 桧が 209,260ha **杉が 35%、 桧が 65%位** で全国とは逆になっています。



木材・住宅業界 これから どうなる どうする？

<エンドユーザーの価値観の変化>

当地世帯構成の変化により、メインターゲットとしてきた「夫婦+子供世帯(4人)は減少」単独世帯や夫婦のみ世帯をターゲットとしたコンパクト住宅や二世帯型住宅の提案も求められると考えます。



<一次取得者層の意識変化>

住宅の一次取得者層の大部分を占める30歳台の平均年収や金融資産は大きく減少し、新築住宅にこだわる層は減少し、中古住宅へのシフトもみられる。



<住宅会社をみつける方法>

	令和元年	令和4年
住宅展示場で	52.5%	47.2%
インターネットで	18.9%	41.6%
知人等の紹介	24.9%	24.0%



<現時点でのまとめ>

どうなる	どうする
当面 工務店・地域ビルダー・ハウスメーカーの大競争時代(突入)	25年の4号特例見直しや省エネ基準義務化のハードルをまずクリア
新しい需要が、単身者向け・夫婦向け ⇒ コンパクト住宅・二世帯型住宅・富裕層向けのこだわり住宅	セミオーダー型住宅開発やこだわり住宅の受注支援システム
2024年 物流問題や残業規制が引き金となり更なる納期遅れや、コストアップ	物流費のコストアップをおさえる為のコスト意識徹底と新しい物流システム (配送回数減少や効率的な配達ルート)
耐震化とエネルギー問題が大きなテーマとなる	耐震のみならず制震への移行も考慮し、また省エネや再生エネルギー使用を前提とした様々なパッケージ化が必要
花粉症対策として10年後に花粉発生源となる杉人工林2割減少させる	杉材の有効利用 (内装材、構造材使用拡大の為の商品開発)
社会問題化する空き家対策 → 大きなビジネスエンジンとして利用 非住宅・オフィスの木質化が加速	空き家にしない工夫 空き家リフォーム、有効活用 グリーンリノベ部会にて 非住宅部会設立として パッケージ化・新工法 相談窓口 など 銘木等利用の独創的、アートの空間創造

ざっと現在思いつく点はこんな感じですが、今年度ぎふの木ネットでは、年内**7月と11月にフォーラムを予定**しており、来年度大きく変わる**構造や断熱基準等**の問題を取り上げます。

さらに、専門家を交えた形で、**各部会を複数スタートさせ、ビジネス化**に取り組みます。
スピードと実行力がテーマです。

ぎふの木のチカラで地域の活性化 ぜひ一緒に

